

9月の衛研検査情報

～トピックス～

夏期食品収去検査

夏期食品等一斉点検は、厚生労働省の通知に基づき、全国一斉に実施しています。本市では平成27年6月1日から8月31日までを夏期取締り期間と定め、一斉点検を行いました。そのうち、食品専門監視班と福祉保健センターによる収去により搬入された検体について、当所が行った細菌検査と食品添加物検査の結果について報告します。

主な結果 細菌検査は、アイスクリーム・氷菓・洋生菓子・清涼飲料水・そうざい・弁当など177検体405項目について実施しました。その結果、規格基準違反はなく、衛生規範不適が14検体（洋生菓子11検体、そうざい3検体）あり、検査依頼元に報告しました。

食品添加物検査は、野菜類・果物加工品、菓子類、清涼飲料水、かん詰・びん詰食品などを重点に、220検体3,513項目について実施しました。その結果、表示にない赤色2号および赤色106号を検出した「野菜類・果物およびその加工品」1検体（輸入品）が違反となり、健康福祉局食品衛生課から輸入者を管轄する自治体に通報しました。

食品中の動物用医薬品検査結果

当所では、食品中の動物用医薬品検査を行っています。今回は、平成27年4月から7月までに食品専門監視班が収去および購入した食品の検査結果を報告します。

主な結果 市内を流通している畜産食品20件について検査を行ったところ、すべての項目で不検出でした。また、インターネットを通じて購入した魚介類10件および市内を流通している魚介類10件について検査を行ったところ、アユ1件より合成抗菌剤エンロフロキサシンおよびフラゾリドンが検出されました。これら2項目は基準値を超えていたため、食品衛生課から管轄する自治体に連絡をしました。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページは、感染症情報や保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報等を提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成27年8月は、A群溶血性連鎖球菌感染症、B群レンサ球菌（GBS）感染症、クロストリジウム-ディフィシル感染症に関するページのアクセスが多くみられ、総件数は98,741件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査等の結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。